

特集

ママとパパへ

そお市より



10月からは「幼児教育・保育無償化（詳細はP.10～）」も始まりますが、今回の特集では市が行っている子育て支援の中でも「お母さんやお父さんの支援」をメインにご紹介。子どもが笑顔になるには、まずおとなが笑顔になること。お母さんやお父さん、そして孫をみているおじいちゃんおばあちゃんも、みんなが笑顔で暮らせるまちを、曾於市は目指しています。



聞いてみた！



子育て支援 何がある？



曾

於市では、市のまちづくりの方向性としてのひとつに「子ども親も安心して過ごせる環境の整備」を掲げています。実際のところ、どんなものがあるのでしょうか？

吉田 地元だけど、子育ての支援についてはほとんど知らなかったです。自分が子育てを始めて「へえ、そんな制度あったんだ」という。

佐藤 わたしは移住してくる前に調べただけど【特定不妊治療の助成】があるというのを知って。出産後だけじゃなく、

妊娠にもサポートがあるのは嬉しかったです。あとは【高校生まで医療費無料】っていうの、けっこう魅力的でしたね。

吉田 佐藤さんは移住してきたとき、まわりに知り合いがいなくて、まわりの不安じゃなかった？

佐藤 大丈夫かなって思ってたんだけど、子どもが産まれてからはけっこう身体的にも精神的にも辛くて…。誰かに相談したいけど、どうしたらいいかわからない時期がありましたね。

吉田 そうだね。話聞いてくれる人もいないだろうし…。外に出ていく元気はなくなるしね。

佐藤 そうそう。お母さんに話をかけて話しても「こうした方が良い」とって意見を言われたりして…。

吉田 わかる…。ただ話聞いて欲しいだけなのに、意見言われるとより疲れちゃうことあるよね…。実家でもそうだったもん。子どもが少し大きくなっ

てからは【子育て支援センター】に行ったりして、知り合いが少しずつ増えていったから少し楽になったかな。

吉田 わたしも【ホームスター】っていうのを保健師さんから紹介してもらって、利用したらすごく気持ちも楽になったよ。週に1回2時間くらい子育て経験のある人が来てくれるの。

佐藤 そんな制度があるんだ！昔の自分に教えてあげたいな。

吉田 ね。わたしたちが知らないだけで色んな制度や場所があるんだろうなって思うけど、なかなか伝わってないよね（笑）。

佐藤 子育てしていると情報収集もなかなか大変だから、自分に必要な情報がわかりやすく手に入ったら、もったいいなと思うよね。

対談の中に出てきた気になる制度などの詳細は次のページからご紹介！



佐藤 美樹さん（仮名）

東京都出身。地方でのびのびと子育てをしたいと夫の地元である曾於市に移住。住み始めて今年で4年目。曾於市の好きところは「学生がすれ違ふとき挨拶してくれること」。



吉田 香織さん（仮名）

曾於市出身。大学から県外にいたが、子どもの出産を機に曾於市に家族で移住。10年ぶりに帰ってきて思ったことは「パン屋さんやおしゃれなお店もできて嬉しい」。

※この対談は市内の子育て世代の意見を元に作成しました。

／ 知ってる？ ／



子育ての 相談場所

日 常の中で、子育てについて不安になったりどうしたらいいかわからないことがあったとき、相談できる人がいますか？ その不安に少しでも寄り添いたいとこんな支援も行われています。

ホームスタート

家庭訪問型
子育て支援ボランティア

子育て応援団として お母さんの力を引き出す

ホ

ームスタートとは、未就学児が1人でもいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が訪問する「家庭訪問型子育て支援ボランティア」のこと。曾於市では3年前、曾於市の事業として始まった。

「わたしたちが都城でしていたホームスタートに興味を持った方が『曾於市にも来てほしい』と言われたのがきっかけでした。年々利用者の方も増えていて、支援につながってきたと感じています」

そう話してくれたのは、NPO法人りんごの木が運営する「ホームスタートそおのそら」の今井さん。

利

用者からは『初めての子どもで離乳食の作り方や食べさせ方がわからない』、『第2子が産まれてから買い物や予防接種が大変』という具体的な相談もあれば、『ただ話を聞いて欲しい』というものもあるそうだ。

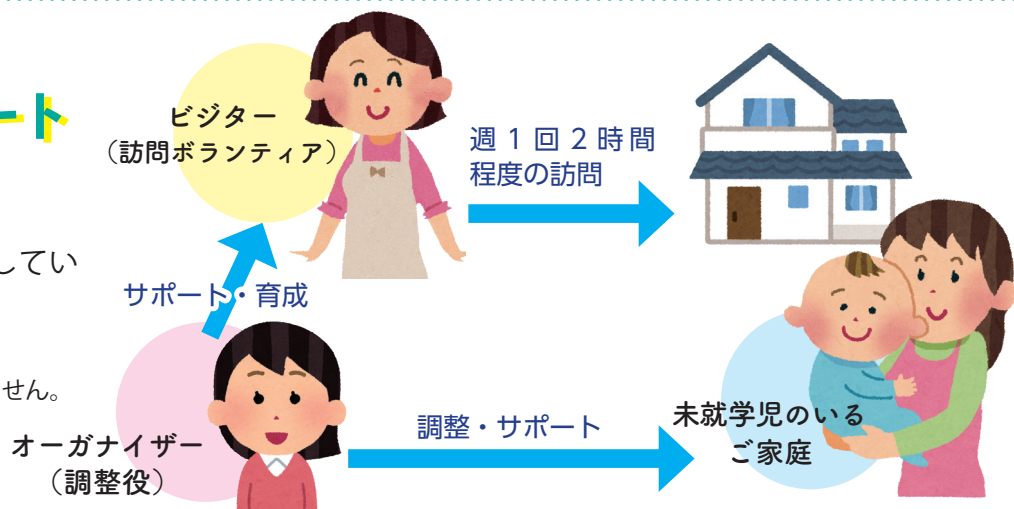
「相談内容をきいてから、相性などを考えてビジターをこちらで選定。その後ビジターが直接ご家庭に伺い、お悩みにあわせて育児家事や外出と一緒にしたり、お話を聞いたりします」

ビジターとは、研修を受けた地元の子育て経験者のこと。「わたしはこうしていた」という経験の場合によっては共有し、また話を聞くことで心の負担を軽くするのが目的だ。

「子どもに対する支援はたくさんありますが、ホームスタートはお母さんの支援。わたしたちは『子育て応援団』なんです。子育てしていて元々できることができなくなってしまう。そんなときに力を引き出せたらと思ってます」

ホームスタート の仕組み

ボランティアで運営しているため、**利用は無料**。
守秘義務厳守です。
※保育や家事代行はできません。





そこのそら オーガナイザー
今井 絵里子さん

このホームスタート、利用は無料で、誰でも利用できるのも魅力のひとつ。訪問するビジターもお金はもらわず「ボランティア」として登録し、活動している。

「子育て支援センターなどに出かけづらい方や、専門機関の支援を受けるほどではないけれどストレスを感じている方にも気軽に利用して欲しいですね。市の保健師さんから進められて利用されている方もいますよ」

昔はあった地域ぐるみでの子育ては少なくなり、「弧、育て」が社会問題となりつつある。小さな悩みも一人で抱えてしまうことで大きな悩みになってしまふことは、誰しもに起こりうること。話せる「誰か」を探しているとき、この制度は味方になってくれそうだな。

ビジターの想い、

私は看護師をしているのですが、「子どもに携わることをしたい」と思っていたときに養成講座があると教えてもらい始めました。お母さんとは「近所のおばちゃん」みたいな感じで関わってますね（笑）。友達でもなく親戚でもないから話せることもあるんだなと思います。あとは写真を撮るのが好きなので、ふとした日常を撮ってあげたりするとすごく喜んでくれます。自分のときに「もっと残しておけばよかった」って思ったんですよね。訪問に行くことで私も優しい気持ちをもっています。



ホームビジター
地主園 栄美子さん

利用者の声



1クール（7回）利用
榎木 美穂さん 隆一郎くん

ホームスタートを知ったきっかけは、6カ月児相談のときでした。保健師さんに子育ての悩みを相談したところホームスタートを紹介してもらい1クール（7回）利用しました。離乳食を作っている間に子どもの面倒を見てもらったり、一緒にお散歩に行ってくれたり。何よりも私の話を聞いてくれて褒めてくれたことが嬉しかったです（笑）。ちょっと不安なことを聞いてほしいとか、頑張っていることを認めてほしいという気持ちが満たされて楽になりました。今、第2子がお腹にいるのですがぜひまた利用したいと思います。

ホームスタート養成講座 受講生募集中

ホームスタートの意義や方法、傾聴の仕方などを一緒に学びませんか？

《受講期間》令和元年9月6日～10月24日までの8日間 《場所》生きいき健康センター（予定）

《受講料》無料 《対象》市内の子育て家庭への訪問ボランティアとして登録できる方

ホームスタートについてのお問合せ・養成講座のお申込みなどは…

電話番号 090-2505-6925 または メールアドレス kodomo.yume.mirai@btvm.ne.jp まで



／ 行ってみた！ ／



子育て支援センター



まだまだ暑い日が続く時期。外だけでなく室内で遊ばせたい…と思ったときはぜひ子育て支援センターに。住んでいる場所は関係なく、大隅でも末吉でも財部でも、誰でも手ぶらで利用できます。



末吉 子育て支援センター

at 生きいき健康センター
末吉町二之方 2342-2

☎ 0986-76-6565



子育て広場 0歳児デー

※一時預かりは前日までに予約が必要
で預かり人数にも限りがあります。

末吉の子育て支援センターは、生きいき健康センター内を奥に進み、トレーニング室の隣にある。来るのは末吉だけでなく、財部や都城の人も多い。また、転勤でやってきたという人も多く、地元の情報交換や母親同士の交流の場にもなっている。

1日1時間、人数限定で一時預かり※もやっていて、歯医者や買い出しなどを済ませる人も多いそう。

そこまで広くないものの、子ども同士の距離も近くなるので、交流が生まれやすそうな雰囲気だ。外には今ではあまり見かけなくなった砂場もあり、外と内を行き来して楽しむ子どもたちもいた。



末吉子育て支援センター
谷口 礼子さん

「支援センター」って聞くとなんだか重たく聞こえますが、気軽に来てもらいたいです。遊びに来て、お母さんも子どもも笑顔で帰ってもらえたら嬉しいです！



財部子育て支援センターも着々と準備中。

9月17日オープンを予定しています。

場所 財部保健福祉センター（財部町南俣 504-1）

※詳細は子育て通信やホームページをご確認ください。



大隅 子育て支援センター

at 弥五郎の里ふれあい館
大隅町岩川 5718

☎ 099-482-2875



子育て広場 スタンプの日

今 年の5月にオープンしたばかりの「大隅子育て支援センター」。ボールプールが大人気で、毎日来るという常連さんも。午前中は未吉で遊び、午後から大隅に来るという人もいます。

弥五郎の里ふれあい館内にあるため、お昼はふれあい館の無料休憩所で持ってきたご飯を食べるというのもできる。この時、弥五郎の湯やデイサービスを利用するおじいちゃん・おばあちゃんたちと交流するのもこの場所ならではの楽しさ。

子どもたちは走り回れるほどの広さもあり、室内ではお母さん同士の交流も盛んに行われている。



大隅子育て支援センター
田中 くるみさん

お母さんたちには、実家に来たような気持ちでここでゆっくりしてもらいたいですね。そうして、リフレッシュして「家でもまた頑張ろう」と思ってもらえたらなと思います♪

まだまだある！／ 曾於市の子育て支援いろいろ

子ども医療費助成

18歳までの子どもが病気などでかかった医療費の自己負担分（入院・通院・薬代）を曾於市で全額助成しています。



特定不妊治療費の助成

不妊に悩む夫婦の精神的・経済的負担の軽減のため、不妊治療を受けた女性または男性に対して治療費の一部を助成しています。

1回につき上限10万円（男女共通）

※県の不妊治療を受けた方が対象になります。

24時間健康・医療相談サービス

24時間態勢で医療や育児、悩みごとの相談に専門のスタッフが電話でわかりやすくアドバイスします。電話代・相談料は無料です。

そおし健康安心電話 0120-177-282

放課後児童クラブ

保護者が仕事により昼間いない家庭の小学生を預かる児童クラブを運営委託し、児童の健全な育成を図っています。

